

高校生による「一日財務行政モニター」会議 開催概要

北見出張所では、地域高校のキャリア教育等の取組と連携することにより、「若い年齢の段階から財政の問題を正しく理解し、自分の事として考えていただく」ことを目的として、高校生による「一日財務行政モニター」会議を開催しました。

市内4校11名の生徒を一日財務行政モニターに任命し、北見出張所の業務内容を紹介するとともに、財政の現状等について説明し、その後は当所若手職員と意見交換を実施しました。

1. 日時・場所

平成31年3月26日（火）10：00～14：30

北見地方合同庁舎 会議室

2. 実施内容

10：00～ 一日財務行政モニター委嘱状交付

北見市内の高校生11名に対して、牧野北見出張所長から委嘱状が交付されました。



10：20～ 当所からモニターへの説明

北海道財務局の業務、金融の基礎知識、日本の財政状況について、職員から説明を受けました。



11:40～ 予算案作成

「自分や将来世代のために、日本の財政を考える」をテーマに、参加者各自が財務大臣になったつもりで予算案のキャッチフレーズを考え、そのキャッチフレーズを実現するために歳入・歳出の項目をどのように増減させたら良いかを考えながら、タブレット端末を用いて予算のシミュレーションを行いました。



13:00～ 意見交換

参加者全員が作成した予算案を発表し、当所の若手職員5名も交えて意見交換を行いました。

意見交換では、

- 増加している社会保障費の財源確保や借金を減らすため、たばこ税、酒税を増税した方が良いが、法人税は企業の海外移転を防ぐため増税しない方が良い。
- 公共サービスを維持するため、借金は少しずつ減らしていく必要がある。

などの意見が出されました。



また、最後に実施したアンケートでは、

- 今回のような予算案についての意見交換を学校の授業で行うともっと色々な考え方や意見を知ることができて、楽しく勉強できるのではないかと思った。
- 他の人の意見を聞くことができて、自分にはない考え方などを多く知ることができて良かった。

といった感想が挙げられました。



3. 最後に

参加いただいた高校生からは、「個人での予算案作成・発表ではなく、グループで行っても良いのではないか」「予算案を作成する時間が短い」など、貴重な意見もいただいております。

このような貴重な意見を参考に、今後とも「一日財務行政モニター」会議が有意義なものになるよう、実施内容の工夫や見直しを検討していきます。